

**グアムサッカー協会会長らが日本サッカー協会を表敬訪問
～W杯 2次予選に向け大阪で強化合宿を実施、意気込みを表明～**



ペナント交換の様子

※写真左より GFA ゲイリー・ホワイト監督、同リチャード・ライ会長、JFA 田嶋幸三副会長

このたび、FIFA ワールドカップアジア2次予選に向け、サッカーグアム代表チームが、8月25日(水)より大阪 J-GREEN 堺で強化合宿をスタート。その来日に伴いグアムサッカー協会(以下 GFA)のリチャード・ライ会長とゲイリー・ホワイト監督らが、日本サッカー協会(以下 JFA)の田嶋幸三副会長らを表敬訪問しました。GFA は過去 12 年にわたり、グアムにおけるサッカーの発展をさまざまな形で JFA よりご支援いただいております、今日まで親睦を深めてきました。同日、ライ会長、ホワイト監督、田嶋幸三副会長は JFA ハウスにて記者会見を行い、グアムと日本のサッカーについて熱く語りました。

GFA のライ会長は、2003 年よりグアム代表監督として JFA より派遣された神戸清雄氏、その後の築館範男氏の貢献について振り返り、彼らが策定した「10 年計画」などの地道な努力によりグアムが着実に成長を遂げたことに深い感謝の意を述べました。そして、小倉純二会長(当時の JFA 会長)から、「(かつてグアムは FIFA ランク最下位近くにいたが) グアムが中位

グループにきてくれれば、上位グループを押し上げる。アジア全体のレベルアップのためにも、がんばってほしい」とエールを送られたことが今でも心に強く残っていると述べ、JFAのおかげで今日のグアム代表チームの存在があると伝え、今後のW杯予選でもチームのさらなる成長に大きな期待を寄せていることを明らかにしました。

JFAの田嶋副会長は、「ライ会長は日本への感謝を言ってくれたが、我々だけがサポートしているのではない。Jリーグのチームのキャンプや選手が自主トレーニングでグアムにお世話になっており、そのために良い環境を準備してもらっている。飛行機で3時間の距離なので、今後は若い選手がグアムでホームステイしながら英語の勉強をするなど新たなリソースも探していきたい」とスポーツ観光を広める意欲を示したうえで、アジア2次予選を迎えるグアムの代表チームに「素晴らしい試合をしてほしい」と激励を送りました。

グアム代表チームは今月31日までJ-GREEN 堺でトレーニングを行い、同日深夜にイラン戦に向けて出発します。ホワイト監督は9月3日のイラン戦について、「イランは強敵で、グアムチームにとっては大きな挑戦である」と話したうえで、「イランへのプレッシャーも大きいはずなので、グアムにチャンスがないわけではない。アグレッシブに戦いたい」と意気込みを語りました。

GFAは今月25日、グアム政府観光局と3年間のパートナーシップ契約を締結、期間中はグアムのアンバサダーを務めます。グアム政府観光局長のネイサン・デナイトは、「スポーツツーリズムはグアムに多くの観光客をひきつける重要な要素です。今回の支援によりグアムの優れた選手を通じてグアムの魅力が伝わり、グアムの競争力がより高まればと思います」と、このパートナーシップに期待を寄せています。